|  |
| --- |
| 差別がなく、平等な社会は、（・すばらしい　・楽しい　・安心できる　・笑顔があふれる・すべての人にとってやさしい　・いじめがない　・何でも言い合える　等）社会だ。 |
| ・誰とでも仲良くするようにする。・みんなと協力してすごす。・分け隔てなく、話すようにする。・人によって、態度を変えないように心がける。・悲しい思いをしていそうな人を見かけたら、声をかける。　　　等 |



３．次の文を読んで、正しいものには〇、あやまっているものには×を書きましょう。

1. が苦しくなったは、人々に節約するように命令した。差別されてきた人たちに対しては「服装は、（）のような、もようのないのものを着よ。」など、より厳しい内容を命じた。（　〇　）
2. 差別されてきた人々の中には、社会を支える大切な仕事をになった人々や、差別に立ち向かった人々がいた。（　〇　）

(ウ)時代になりが出されたことで、差別がなくなり平等な社会となった。（　×　）

社会科の教科書等に記載してある山田少年の演説内容から思いを想像させる。

全国水平社

時代になり、身分制はされ、やからも差別された人々も、「」となった。

オランダ語の人体かいぼう書を手に入れたとは、この本のほんを完成させ、出版した。

江戸時代後半、は差別されていた人々に対して、差別を強める命令を出した。これに対して、多くの村から人々が団結して立ち向かった。

差別されていた人々は側とねばり強く話し合いをし、命令を実行させなかった。

実際にしながら説明したのは、やからも差別された人々の一人であった。

政府は、差別をなくす積極的な政策を行わなかったため、やなどの面でさまざまな差別が残った。

住む場所　　　　服そう　　　　治安　　　　石や　　　　芸能　　　　高い技術

こばまれた　　　みとめられた　　　　ねんぐ　　　　生活用品　　　　身分

・やは、（③　身分　）を区別する仕組みを固め、支配を強めた。

・やからも差別された人々は、（④　住む場所　）、仕事、（⑤　服そう　）を他の身分の人々と区別されたり、祭りへの参加を（⑥　こばまれた　）り、厳しい差別を受けた。

・しかし、農業を営んで、（⑦　ねんぐ　）をおさめたり、すぐれた技術で人々の暮らしに必要な（⑧　生活用品　）をつくったり、役人のもとで町や村の警備にあたるような（⑨　治安　）を守る役をになったりした。

・また、やなどの（⑩　芸能　）を伝え、後の文化にも影響を与えた。

■江戸時代

児童の実態等によって、既習内容等を振り返らせながら取り組ませる。

２．江戸時代や時代の出来事について、以下の語句とその説明を線で結びましょう。

②大会に参加したは、どんな思いで演説していたでしょう。

（ねらい）

・同和問題（部落差別）に係る歴史的な事柄について理解する。

・差別がなく平等な社会に向けて、自分ができることを考えることで、人権感覚を養う。

今まで差別されて辛かった。平等な社会になってほしい。

同じ人間なのに、どうして差別されなければいけないのか。

差別されることなく、幸せに暮らしたい。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　等

（　）年（　）組　名前

「差別されてきた人々」の歴史から学ぼう

・水を使わず（①　石や　）を使って、山や水の景色を表すが作られるようなった。

・石庭づくりでは、当時差別されながらも（②　高い技術　）を持っていた人々が活やくした。

４．①大正時代の出来事について、　　　　　に当てはまる言葉を書きましょう。

・１９２２年3月、やなどで差別され、苦しめられてきた人々は、自らの力で差別をなくすために、　　　　　　　　を結成した。

５．あなたなら、下の（　　　　　）にどのような言葉を入れますか。

そのために、自分ができることを考えて書きましょう。

渋染一揆

解体新書

■室町時代

１．①～⑩に当てはまる言葉を、下の言葉から選んで書きましょう。